

令和3年度

「沖縄県青少年フレンドシップイン兵庫」

県内研修（in名護）実施要綱

1. 事業の目的

昭和47年から沖縄と兵庫は友愛県として深い交流の歴史があり、その一環として平成28年度（2016）から沖縄県青少年フレンドシップイン兵庫を実施してきた。

令和元年度（第4回）までに288名の小中学生が参加し、兵庫県児童生徒と歴史や文化、防災学習等を通して相互理解を深め、ふるさとの発展に寄与できる青少年リーダーを養成した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度も沖縄県から児童生徒の派遣は中止するが、オンライン交流会を通して、両県の歴史や文化・自然をはじめ、日常生活での興味関心についてお互いに紹介しあい、交流を通して堅い友愛の絆を培う。

なお、「新型コロナウイルス感染症」等について、宿泊施設及び訪問先と連携を深め、団員の健康と安全管理を徹底して各プログラムを実施するが、感染症の影響による中止や日程変更もあることをあらかじめご承知下さい。

2. 事業の概要

1) 主催 公益社団法人沖縄県青少年育成県民会議

2) 共催 沖縄県、沖縄県教育委員会

3) 日程 令和4年1月8日(土)～9日(日)（1泊2日）

4) 場所 沖縄県立名護青少年の家




5) 参加人員及び団構成

(1) 参加人員 30人

(内 訳) ①一般団員 県内に在住する小学5、6年生 12人
県内に在住する中学生(副班長) 4人
②班 長 県内に在住する高校生 4人
③役 職員 団長1人、事務局職員9人 計30人

(2) 団 構 成 4班 [1班5人＝小学生3人、中学生(副班長)1人、高校生(班長)1人で編成する]

6) 活動内容

月 日	交通機関	活 動 内 容	宿 泊
1 日 目 1月8日(土)	保護者で 送迎 バス	○現地集合 ○結団式○自己紹介 ○兵庫県(KOBE夢・未来号)参加者と記念植樹 ○自然体験/沖縄美ら海水族館 ○レクリエーション	沖縄県立 名護青少年の家
2 日 目 1月9日(日)	保護者で 送迎	○交歓会準備(エイサー太鼓作りなど) ○兵庫県とオンラインで交流会 ○感想文とアンケート ○解団式 ○現地解散	

【※活動内容は天候及び感染症の影響その他の都合により変更する場合があります】

3. 募集及び選考

一般団員の募集及び選考は、別に定める「令和3年度沖縄フレンドシップイン兵庫(in名護)募集案内」による。

4. 班長・役職員事前研修の実施

班長の役割分担と、事業目的を達成するため、班長と役職員の事前研修を実施する。

月 日	交通機関	活 動 内 容	場 所
12/25(土) 13:00~17:00	保護者で送迎	班長としてリーダーシップを高めるプログラムや個人面談の実施。役割分担を決めて、本研修に向けた事前準備を行う。	沖縄県三重城合同庁舎4階 (オンラインの場合もあります)

5. 事後研修の実施

「沖縄県青少年フレンドシップイン兵庫(in名護)事業の貴重な体験を生かしたその後の活動について、団員相互の情報交換を行い、学校及び地域活動の中で活動できるリーダーとしての資質をさらに高めるために、事後研修を実施する。

月 日	交通機関	活 動 内 容	場 所
1/22(土) 13:00~17:00	保護者で送迎	本研修のまとめ学習(班ごとにレポートを作成し事業の目的と自身の成長を確認する)	沖縄県三重城合同庁舎4階

6. 経費

- (1) 一般団員(小学生・中学生)は2,500円(本研修での宿泊代、食事代、シーツ代及び本研修・事後研修時の保険代)の費用を負担する。
- (2) 班長及び一般団員は、本研修及び事後研修における会場までの交通費などは、自己負担とする。
- (3) 本研修及び事後研修の実施期間中に、台風、地震等の自然災害により生じた交通費、宿泊費等の超過経費については自己負担とする。
- (4) 本研修及び事後研修の実施期間中に、団員の責任により生じた経費及び怪我・疾病等に要する経費は自己負担とする。

7. 事業の中止

天災、新型コロナウイルス感染症、その他のやむを得ない事情で、事業を中止した場合は、一般団員が支払った負担金の中から、団員のためにすでに支払った経費を除いて返還する。

8. 旅行傷害保険等

事前研修(班長)、本研修、事後研修会に参加する際に、全国社会福祉協議会ボランティア保険に加入する。

9. 問い合わせ先

(公社)沖縄県青少年育成県民会議

電話 (098-861-3463) FAX(098-861-3473)

沖縄県子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課 電話 (098-866-2174) FAX (098-868-2402)

